

物認可

平山郁夫氏の遺産隠す

たんすに現金2億円妻、申告せず

国税局指摘

2009年に79歳で死去した日本画家で文化勲章受章者の平山郁夫氏の遺産相続を巡り、妻(87)

が東京国税局の税務調査を受け、2億円の遺産隠しを指摘されていたことが13日、分かった。自宅にある現金の存在を知らず申告し、納付したとみられる。

平山氏の作品の著作権についても、評価額が過少だったとして約1億円の申告漏れを指摘されたが、妻側は不服として国税不服審判所に審査請求したとみられる。

関係者によると、平山氏の遺産のうち、美術品やアトリエの土地・建物など約11億4千万円分は

公益財団法人「平山郁夫シルクロード美術館(神奈川県鎌倉市)に寄付され非課税となった。妻は相続財産の一部を申告したが、昨年の税務調査で自宅の洋服たんすから紙袋に入った現金約2億円が見つかり、申告していなかったことが判明。国税当局は意図的な隠蔽行為と判断したという。平山氏は仏教やシルクロードを題材にした幻想的な作風で知られ、1998年に文化勲章を受章。09年12月、脑梗塞のため死去した。

13日経